

これでわたしも
毎日学校に行ける

ジンバブエにおける 「中学校の学生寮建設プロジェクト」

子どもたちは学校まで往復 15 キロ歩かなければなりません。
特に女の子は通学中の安全面に不安を抱えています。

一口
100万円
プロジェクト

ご支援いただくと……

一口 100 万円で、個人もしくはグループで
ご支援いただくプロジェクトです。

- お名前の入った記念プレートを設置します
- プロジェクトの進捗報告書をお届けします
- 活動地域をご訪問いただけます*
- 税制上の優遇措置(寄付金控除)を受けられます

*現地事情により訪問できない場合があります

プロジェクトの詳細は
裏面をご覧ください。

募集期間:

2024.10/1(火)

}

2025.1/31(金)



ジンバブエにおける 「中学校の学生寮建設プロジェクト」

プロジェクトでは長距離通学を余儀なくされている子どもたちのための学生寮を建設し、教育環境を整えます。あわせて啓発トレーニングを行い若年女性や子どもたちへの暴力や早すぎる結婚、妊娠を防ぎ教育の継続を後押しします。また、遊牧民が多く暮らすコミュニティは気候変動の影響を受け、人々の生活は厳しさを増しています。既存の学校菜園を活用し気候変動影響下での野菜作りについての学びを提供し、持続的な食料確保を支援します。



- 活動期間 2025年4月～2026年3月（予定）
- 実施地域 ブラワヨ活動地域
- おもな活動内容
 - ・食堂、衛生設備を備えた学生寮の建設とベッドなどの備品支給
 - ・ビーカーや試験管、顕微鏡等の実験用具を備えた理科室の設置と机、いすなどの備品支給
 - ・農業実習と学生寮の食事を確保する学校菜園の整備
 - ・地域における子どもの保護の強化
 - ・性と生殖に関する健康と権利についての正しい知識と対応のトレーニング
 - ・ジェンダー平等と包摂に基づいた教育を促進するための教師を対象とした能力強化研修
- 対象者
 - ・中学校に通う子ども約160人と教師5人
 - ・子ども保護委員会メンバー105人
 - ・学校管理委員会メンバー49人
 - ・コミュニティの人々約6,000人
- 予算 3,000万円



子どもたちの通学路



ジンバブエの中学生



建設予定と同タイプの学生寮

現地からの メッセージ



イランドラ・ドラブさん
(プランとともに活動するユースのリーダー)

私たちの地域では気候変動が日々の生活や家計に影響をもたらしています。もとよりあるジェンダー不平等により、女の子たちの水汲みなどの家事負担が増し教育が後回しになっています。女の子たちをエンパワーメントし教育を受け続けられるようすることは重要です。ジンバブエの子どもたちが学校に通い続けられるよう、ご支援をお願いいたします。

これまでの 参加者の声

経過が詳しく丁寧に報告され地域のことも少し理解できた。

.....
現地の人々が喜んで施設を活用してくださっているのがわかり、とてもうれしく満足です。報告書の現地の声（特に子どもたちの）を読んで実感しました。

プロジェクトに関するお問い合わせは、以下へお気軽にご連絡ください。あたたかいご支援をお待ちしております。

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン 〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22 サンタワーズセンタービル 11F

「一口 100 万円プロジェクト」担当

Mobile : 080-7739-3430 TEL : 03-5481-6100 E-mail: hello@plan-international.jp

※ウェブサイトの「一口 100 万円プロジェクト〈ジンバブエ〉」紹介記事のフォームからお問い合わせ、お申し込みいただけます